

心の復興音楽基金 御中

2011年9月22日

ソプラノ 大森智子 財団法人日本オペラ振興会所属

ピアニスト 中川賢一 (株) プロアルテムジケ所属

東日本大震災 被災地訪問コンサート実施報告下記の通り東日本大震災被災地コンサートを実施いたしましたのでご報告申し上げます。

記

日時：2011年9月16日 14:50～15:30

会場：宮城県石巻好文館高等学校（宮城県石巻市で貞山3丁目4-1） 体育館

対象：全校生徒600名+教職員、同窓生

内容：ソプラノとピアノ演奏

全校生徒600人に演奏を楽しんでいただきました。震災でご両親を亡くされ進路変更を余儀なくされた生徒も多くいらっしゃいました。全体の約3割の生徒の家が全壊であるという事でした。

出演者：大森智子（ソプラノ）、中川賢一（ピアノ）

プログラム：

- ・アヴェマリア…シューベルト
- ・アメイジンググレイス…伝承歌
- ・月の光…ドビュッシー（ピアノソロ）
- ・キエフの大門…ムソルグスキー（ピアノソロ）
- ・ユーレイズミーアップ…ラヴランド
- ・翼をください…村井邦彦
- ・好文館高等学校校歌（全員斉唱）

【経費報告】

内容

ガソリン代（石巻ー仙台往復）	2150 円
調律（ピアノテック仙台）	17850 円（交通費込）
宿泊（大森 15, 16 日宿泊分）	20,800 円（1泊 10,400 円 計 2泊）

合計 40,800 円

* 移動：中川氏自家用車運転（仙台⇄好文館高等学校）

（18日仙台で本番があり、東京⇄仙台分の交通費はすでに所有のため請求の必要無し）

* 宿泊：ホテルモントレ仙台

【感想】

初めて訪れた石巻市は、広範囲に渡って甚大な被害を受けたところ、かなり瓦礫は撤去されたとのことでしたが津波の爪痕が半年経った現在も至るところにはっきりと残されていました。

好文館高等学校は、3月11日の震災時、クラブ活動中の270名の生徒、教職員、周辺住民の計1680名が津波の被害を避けるため校舎3階に避難
通信手段が断たれ食料も無いまま（水の摂取だけで）3日間動けなかったそうです。

生徒の3割の自宅は全壊、津波の犠牲になった生徒や生徒の肉親も何名かいらっしゃいました。

また高校には体育館が二つあり、一つはまだ避難所として使用されていました。

好文館高等学校は今年創立百周年を迎え、しかし震災が発生したことから
記念式典は自粛していらっしゃいました。

このたびのコンサートが開催されることになり、学校側が、当日の授業を短縮し
創立百周年記念コンサートというように調整くださいましたことは感謝であり光栄なこと
でした。

600名がシンと耳を澄まし、素敵な笑顔をくださりまして
私にとっても、音楽家に必要な、有難い糧をたくさんいただいた貴い時間となりました。

このたび、ご支援いただきまして大変感謝しております。

とくに、ピアノ調律を頼れましたことは大きく、学校側にも、いつもの体育館のピアノじ

やないととても喜ばれ、大変ありがたいですとおっしゃっていました。

今後も、継続して傷ついた方々への心の復興に携わってまいる所存です。
引き続き、そのような活動人への支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。
ありがとうございました。

大森智子

【会場の様子】



